川辺町 洪水ハザードマップ

令和４年３月作成

この洪水ハザードマップは、岐阜県が公表した「水害危険情報図」を基に作成しており、**想定し得る最大規模の降雨（1000 年に一回程度起こる大雨（L2））**に伴い飛騨川とその他の岐阜県が管理する河川が氾濫した場合の浸水の区域及び浸水した場合の水深を岐阜県がシミュレーションした結果を表示したものです。

「水害危険情報図」は、洪水浸水想定区域図の作成手法を簡略化した方法で作成しており、シミュレーションの条件（降雨、地形）などの違いにより、このマップに着色されていない区域においても浸水が発生したり、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

日頃からご家庭や地域の方と防災について話し合っていただき、災害時の被害軽減にお役立てください。

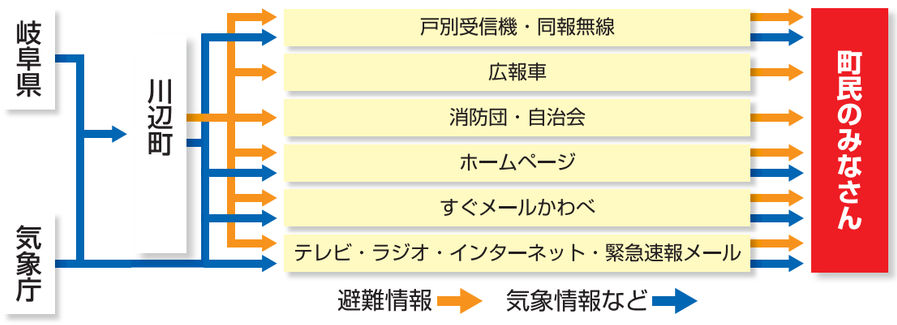
川辺町役場　総務課

〒509-0393　岐阜県加茂郡川辺町中川辺 1518-4
TEL:0574-53-2511（代表）
https://www.kawabe-gifu.jp/

01 避難に役立つ情報の入手

情報の伝達経路・収集方法

避難情報、気象情報などは、下の図のような経路で伝達されます。



情報を入手しましょう!!

川辺町ホームページ	メール配信サービス「すぐメールかわべ」	岐阜地方気象台	岐阜県総合防災ポータル	ぎふ土砂災害警戒情報ポータル	国土交通省川の防災情報
https://www.kawabe-gifu.jp/	https://www.kawabe-gifu.jp/?page_id=8416	https://www.data.jma.go.jp/gifu/	https://gifu-bousai.secure.force.com/	https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/web_pub/top.html	https://www.river.go.jp/portal/#80

避難情報とみなさんがとるべき行動

川辺町が発令する避難情報のほか、警戒レベルに相当する防災気象情報にも注意を払い、早めの避難を心がけましょう。

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	町が発令 避難情報	★参考情報　国や県が発表 防災気象情報（警戒レベル相当情報） 水位情報	気象情報	河川の水位
5	災害が発生・切迫し、極めて危険な状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報	氾濫発生
～ 警戒レベル４までに必ず避難!! ～					
4	危険な場所から、速やかに全員避難してください。避難先への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難してください。	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	氾濫危険水位 いつ氾濫してもおかしくない危険な状態
3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は、避難してください。その他の人も危険を感じたら自主的に避難してください。	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報	警報	避難判断水位 一定時間後に氾濫の危険がある状態
2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。		2相当 氾濫注意情報	注意報	氾濫注意水位 水位の上昇が見込まれる状態
1	災害への心構えを高めましょう。		1相当	早期注意情報	

平常時の水位

02 避難行動

小中学校、公民館に行くことだけが避難ではありません。
【避難】とは【難】を【避】けること、下の４つの行動があります

町が指定した避難場所への立退き避難
自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
など

安全な親戚・知人宅への立退き避難
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

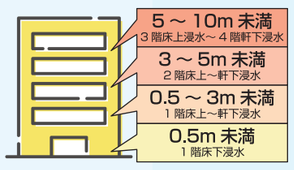
安全なホテル・旅館への立退き避難
通常は宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

事前にどう行動するか決めておきましょう

屋内安全確保
ハザードマップなどで「２つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。
※土砂災害の危険がある区域では、立退き避難が原則です。

「２つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅で安全を確保することも可能です

①浸水深よりも居室は高い



②水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分
水、食料、薬などの確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレなどの使用ができなくなる恐れがあります。

- **浸水以外の危険（土砂災害など）な区域も確認し、避難行動を検討しましょう。**
- **安全な場所にいる人でも、周りの状況を確認して、避難しましょう。**
- **大雨の時や浸水してからの避難は危険です。気象情報や避難情報をもとに、早めの避難を心がけましょう。**

03 災害避難カード

命を守るためには「早めの準備、早めの避難」が大切です。自宅や職場の近くの危険個所を確認し、避難する際の経路などについて、家族で話し合っておきましょう。

災害避難カードはこちらからダウンロードできます。
https://www.kawabe-gifu.jp/wp-content/uploads/2020/04/hinancard-1.pdf

1. 避難に必要な時間は？

安全な場所は？

- □ 浸水区域の外
- □ 土砂災害警戒区域の外
- □ 土砂災害特別警戒区域の外

A 安全な場所まで片道（通常時）
荷物を持って避難することを考慮してください
徒歩で　　分　車で　　分

B 安全な場所まで片道（豪雨時）
荷物を持って避難することを考慮してください
徒歩で　　分　車で　　使用不可

C 避難を決断してから家を出るまで
身支度などの時間も含めます
　　分

D 要支援者を支援するのに
一緒に避難する方の自宅に立ち寄り、支援する時間です
　　分

E 避難を決断してから安全な場所まで
避難時間を合計し、避難開始のタイミングを決めるのに使用します
徒歩で（A+C+D）　　分　車で（A+C+D）　　分　豪雨時で（B+C+D）　　分

03 災害避難カード

2. 誰と避難する？

家族はもちろん、近所の方、体の不自由な方など一緒に避難する人の名前と連絡先を記入します。

名　前	連　絡　先	名　前	連　絡　先

3. 何を持って避難する？

避難生活で必要なものを記入します。大きさ、重さなど、本当に持てるかを事前に確認します。
避難の際に両手が使えるよう、リュックなど背負えるものに準備しましょう。

	名　前	必要量		名　前	必要量
生活用品	□ 着替え（下着含む）		救急と衛生	□ 包帯、テープ、ガーゼ	
	□ 携帯・簡易トイレ			□ 紙おむつ（幼児用、高齢者用など）	
	□ 毛布、寝袋			□ 生理用品	
	□ トイレットペーパー			□ 常備薬・服用している薬	
	□ タオル		便利品	□ ヘルメット・防災ずきん	
	□ ティッシュ			□ 懐中電灯（予備電池）	
	□ ウェットティッシュ			□ 軍手	
	□ ビニール袋			□ 使い捨てカイロ	
	□ 筆記用具・メモができるもの			□ 笛やブザー（居場所を知らせるもの）	
	□ マスク		貴重品	□ 免許証などの身分証のコピー	
	□ 体温計			□ 健康保険証のコピー	
	□ 消毒用アルコール			□ 現金	
	□ 歯ブラシ・歯磨き粉			□ 権利証書のコピー	
	□ 洗面用具			□ お薬手帳のコピー	
	□ 粉ミルク・哺乳瓶（幼児用）		その他	その他に必要なものを書き込みましょう	
非常食料	1週間分×人数分用意する			□	
	□ 飲料水（1人1日3リットルが目安）			□	
	□ 食料（米、即席麺、缶詰、レトルト食品、調味料、味噌汁、飴など）			□	
				□	
情報収集 機器	□ 携帯電話・スマートフォン（充電器を含む）			□	
	□ 携帯ラジオ			□	

4. 避難のタイミング

基本は、早め早めの避難です。台風が近づく前、雨が降っていない段階での避難も必要です。
いつ避難を開始し、いつまでに完了するか、どこから情報を得るかなど必要な内容を書き込もう。

気象情報		注意報	警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
水位情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
避難情報			レベル3（時間がかかる人は避難） 高齢者等避難	レベル4（全員避難） 避難指示	レベル5 緊急安全確保
いつ何をする？	日中の避難	（例）気象情報に注意する	（例）避難準備を始める　（例）避難開始	（例）避難完了	レベル5になる前に必ず避難を完了しましょう
	夜間の避難	（例）避難準備を始める	（例）避難開始　（例）避難完了		